

Kyoto Print
Hogya

KYOTO版画 23

Spring 2017

Kyoto Print Exhibition Executive Committee Newsletter



■ 活動報告
■ 日本・カナダ国際版画展 in カナダ
■ 揭示板

徳島巡回展について
廣瀬 敦史 平木 美鶴
ワークショップを終えて

京都巡回展について

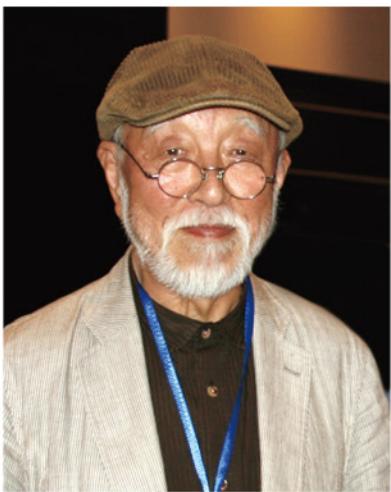
京都展を振り返って
坂爪 厚生
ギヤラリートークについて
本岡 千尋
ワークショップを終えて
鈴木 良治

カナダ展開催までの軌跡
黒崎彰

特集

カナダ展開催までの軌跡

黒崎 彰



二〇〇八年にトロント（カナダ）在の出先機関、日本国際交流基金に招かれ個展や講演を行ったとき、私はエドモントンの版画家リズ・イングラムとウォルター・ジュールに会い、帰国することにした。勿論、前もってアポを取つてはいたが、彼らを訪ねるのも初めてなら、評判のアルバータ大学版画センターを訪ねるもの初めてであった。

しかし、私の目的は、版画仲間たちとの親交を深めることでもなかつたし、見学が目的でもなく、ただひとえに、今日的なカナダ作品と京都版画（*版画京都展実行委員会の通称名）の作品交流が可能か否かを探ることにあつた。計画の実現には時間がかかり、相互の信頼と尊敬を必要とし、また京都サイドの理解と熱意がなければ不可能なことでもある。こうして始まつた「日本・カナダ国際版画展」のプランは、ようやく八年後の昨秋に実現、開催された。



一〇月九日、京都市美術館で催した日本・カナダ国際版画展二〇一六にて、両国の作家によるギャラリートークが行われました。カナダ作家の方から、一人ずつ自分の作品の前に出ていただき、版種や技法について、またモチーフやコンセプトについて話して頂きました。今回展示している作品についてだけでなく、これまで作つて来た作品について話す方や、これから作品をどう展開していくか具体的なプランを話す方もいらっしゃいました。また、自分が普段どのような仕事に就いているのか、労働者としての生活と作家としての活動について、二つの生活を語る方もいらっしゃいました。

参加された方は、お互いの国の作家はもちろん、自國の作家の解説についても熱心に耳を傾けていました。そのため予定時間を上回る盛況となりました。

幸福な交流展に至つた因には、カナダ側の努力と、それを支えるリズとウォルター二人の熱意によるものであった。レセプション、シンポジウムとギャラリートークに参加したカナダ作家は二〇名を越え、幸い最も活気ある国際交流展となつたのである。

幸福な交流展に至つた因には、カナダ側の努力と、それを支えるリズとウォルター二人の熱意によるものであった。レセプション、シンポジウムとギャラリートークに参加したカナダ作家は二〇名を越え、幸い最も活気ある国際交流展となつたのである。

展覧会の準備は、事務局を中心にして、各係がしっかりと対応してスムーズに行われたように思います。ただ、オープン前日の展示、飾付は時間がなく、作品の配置やディスプレイ、会期中の当番などの準備が十分ではありませんでした。展示にもう一日とる必要を感じました。



ギャラリートーク：京都市美術館

この技法は多摩美術大学の小作青史名誉教授が考案された技法です。私が在学中にアトリエに行くと誰よりも早くアトリエで制作している先生がいました。その時先生が格闘していたのが凹版の剥がし刷りでした。より深い凹版のインクをプレス機の圧力をかけないで刷れないか試作していました。

大学を卒業してメティウム剥がしは、平木美鶴さんに技法を教えていただきました。今のメティウム剥がし刷りはすごく簡単に綺麗にできることに衝撃を受けました。プレス機がいらぬい、教育現場や趣味の人たちにも紹介しやすい、などいいことづくめで私も取り組むようになりました。



ワークショップを終えて
鈴木 良治

ギャラリートークについて

本岡 千尋

一〇月九日、京都市美術館で催した日本・カナダ国際版画展二〇一六にて、両国の作家によるギャラリートークが行われました。

カナダ作家の方から、一人ずつ自分の作品の前に出ていただき、版種や技法について、またモチーフやコンセプトについて話して頂きました。

今回展示している作品についてだけでなく、これまで作つて来た作品について話す方や、こ

れから作品をどう展開していくか具体的なプランを話す方もいらっしゃいました。また、自分

が普段どのような仕事に就いているのか、労働

者としての生活と作家としての活動について、

二つの生活を語る方もいらっしゃいました。

参加された方は、お互いの国の作家はもちろん、自國の作家の解説についても熱心に耳を傾けていました。そのため予定時間を上回る盛況となりました。

この技法は多摩美術大学の小作青史名誉教授が考案された技法です。私が在学中にアトリエに行くと誰よりも早くアトリエで制作している先生がいました。その時先生が格闘していたのが凹版の剥がし刷りでした。より深い凹版のインクをプレス機の圧力をかけないで刷れないか試作していました。

大学を卒業してメティウム剥がしは、平木美鶴さんに技法を教えていただきました。今のメティウム剥がし刷りはすごく簡単に綺麗にできることに衝撃を受けました。プレス機がいらぬい、教育現場や趣味の人たちにも紹介しやすい、などいいことづくめで私も取り組むようになりました。

今回のワークショップでは、会員の野嶋革さん、謝敷ゆうりさん、吉元光生さん、並びに各係りの皆様方のおかげでワークショップをやり抜くことができました。正直、準備不足のところが多くバタバタなどころがありましたがあまりでなければ剥がし刷りの経験の方がおり、的確にお手伝いいただきました。作品も皆さん

たのしく制作てきて、版から剥がれる時の皆さんの表情が気持ちよさそうでした。



徳島巡回展について

平木 美鶴

日本・カナダ国際版画徳島巡回展は京都展の終了した六日後にはオープンするというタイトなスケジュールでした。搬入飾付けには徳島のメンバー五名とアルバイト八名に加えて、近畿、中部、九州からメンバー十九名が手伝いに来てくれ大いに助かりました。

展示は、徳島県立近代美術館ギャラリーに日本作家、徳島県立二十一世紀館多目的ホールにはカナダ作家と分けました。

翌日の一〇月二二日（土）はオープン記念のギャラリートークということで徳島在住の阿部雅光、近藤幸、鈴木良治、平木美鶴、廣瀬敦史の5名と名古屋から来て頂いた松岡恵子さん、ふじいみよこさんに自作の作品を説明してもらいました。カナダ作品については平木が解説しました。一般からの参加人数は四〇名で皆、真剣に聞き入り好評でした。



徳島県立近代美術館外観



カナダ側作家の展示：徳島県立 21世紀館多目的ホール

日本作家の作品は多少窮屈な展示となりましたが、どうにか展示できました。また、小品展は、一〇月二二日（土）～三〇日（日）に眉峰ギャラリー（徳島市東船場町一丁目一〇番地）にて開催しました。その日の夜は、徳島の食とお酒を堪能し楽しい時間を過ごしました。



日本側作家の作品搬入
徳島県立近代美術館ギャラリー

一〇月二三日（日）は近藤幸さんによる「木版画の刷り実演」を美術館ギャラリー内で開催しました。二〇名の方が参加し、近藤さんの軽妙な水性木版画の多色刷りについて説明は大変好評でした。



近藤幸氏による木版画の刷りの実演

一〇月二九日（土）は廣瀬敦史による「木口木版画の制作実演」を同じく美術館ギャラリー内で開催しました。九名の方が参加し、ビュランによる廣瀬さんの超絶技法の彫りや刷りに参加者は魅入られました。

九日間の総入場者数は五八九名で徳島での展覧会では多い入場者数でした。地方でなかなか見ることのできないカナダ現代作家の作品や多彩な日本作家の作品に対して賞賛の言葉を多くいただきました。また、徳島新聞紙上にも大きく掲載していただき、地方巡回展の意義を改めて感じました。搬入出にお手伝い頂いたメンバーの方々や下見に来ていたり展示計画に尽力いただいた佐久間嘉明氏と弘中征夫氏に感謝致します。



昨年は初めて、京都版画と徳島で三回、「ワークショップ」をさせて頂き、木口木版画、銅版画を教える機会がありました。今までに人に教えるという経験がなかったので、すごくいい経験をさせて頂いたかと思います。

最初のワークショップでは、作家さんに教える形で銅版画のエンゲージメントをさせて頂いた所、すごく興味深そうに色々と突っ込んだ意見をもらい、返答するのに大変でした。徳島の美術館のワークショップでは、木口木版画をさせて頂きました。参加型のワークショップをしたいとは思っていたのですが、版本用意する所でつまずきました。ほとんど木口木版の紹介の様なたちで、もう少し資料等でわかりやすい説明をした方がいいかなと、色々反省する点も見つかりました。

三回目のワークショップは、徳島の阿波銀ホールでエングレービングと、雁皮刷りの実演をしたのですが、非常に多くの方々に来て頂いて緊張しました。作家さんはまた反応が違つて、実演を興味深そうにみて頂きました。今回木版画用のプレス機を使用したのですが、問題なく刷れたことに驚きました。

ワークショップをする事で自分のやっている制作方法を人に伝えるのは難しい点もありましたが、すごく楽しかったです。ありがとうございました。

廣瀬 敦史

ワークショップを終えて

活動報告

展覧会名：第8回ポレポレ展
日 時：2016年9月20日（火）～10月2日（日）
会 場：JARFO 京都画廊
会場住所：〒602-0841 京都市上京区河原町通り今出川下る
梶井町448-17 河原町トウキュウビル1階
出 品 者：朝日みお、片岡れいこ、斎藤修、坂爪厚生、佐久間嘉明、ツツミアスカ、野嶋革、平木美鶴、武藏篤彦

JARFOが移転して初めてのポレポレ展になります。新しい会場はすっきりとした良い空間で、鑑賞もし易いと思いました。オープニングパーティーはJARFOのスタッフの心遣いも暖かく、和やかな楽しい雰囲気でした。京都版画を凝縮したように年齢、技法など多種多様で見応えのある展覧会だったと思います。唯一の問題点は、やはりお客様の動員数の少なさにあります。JARFOの移転の認知度の低さが原因でしょうか？今後の課題と考えます。

文：朝日みお／写真撮影：松原知子（JARFO）



掲示板

会報にお寄せいただいた版画京都展実行委員会メンバーの展覧会情報です。
詳細は各会場へお問い合わせください。

●日高 理恵

[個展] 日本・カナダ国際版画展 2016 受賞者展 日高 理恵 個展
会期：2017年4月18日～4月23日
会場：ギャラリーヒルゲート2F
京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町535
TEL：075-252-1161

●花原 淳子

[個展] 日本・カナダ国際版画展 2016 受賞者展 花原 淳子 版画展
会期：2017年5月9日～5月14日
会場：ギャラリーヒルゲート2F
京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町535
TEL：075-252-1161

●謝敷 ゆうり

[グループ展] BLIND PEAK I
会期：2017年5月12日～5月28日
会場：不忍画廊
東京都中央区日本橋3-8-6 第二中央ビル4F
TEL：03-3271-3810

●小野 知美

[個展] 小野 知美 石版画展
会期：2017年5月26日～6月3日
会場：ギャラリーインザブルー
栃木県宇都宮市東宿郷3-1-9
TEL：028-635-5832

●朝日 みお

[個展] 朝日 みお 個展
会期：2017年6月6日～6月11日
会場：ギャラリーヒルゲート2F
京都市中京区寺町通三条上ル天性寺前町535
TEL：075-252-1161

●坪山 由起

[グループ展] 2017 International Contemporary Exhibition "In Pursuit of Beauty"
会期：2017年8月19日～8月29日
会場：3331 Arts Chiyoda メインギャラリー
東京都中央区日本橋3-8-6 第二中央ビル4F
TEL：03-6803-2441

カナダ・日本国際版画展2017

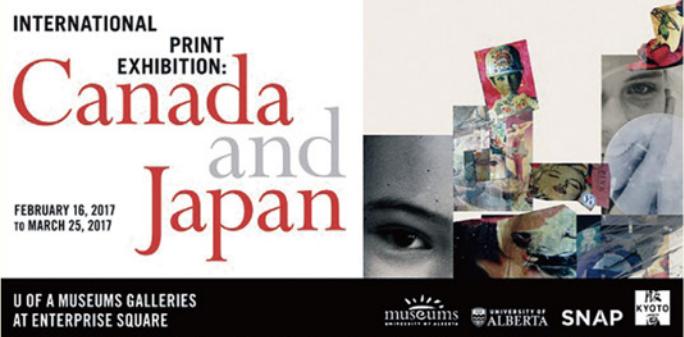


エドモントン展
2017年2月16日（木）～3月25日（土）
アルバータ大学美術館

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

レジーナ展
2017年9月開催予定
レジーナ・アート・ギャラリー

2016年10月に京都と徳島で開催しました、「日本・カナダ国際版画展 2016」が、2017年にカナダへ巡回します。3月のツアーは、参加者の定員が満たず、残念ながらキャンセルとなりましたが、また、9月の展覧会に合わせてツアーの企画を予定しています。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、決まり次第、追ってお知らせいたします。



<https://www.kyotohanga.com>

●川端 千絵

[個展] 川端 千絵 個展
会期：2017年9月19日～9月24日
会場：ギャラリー恵風
京都市左京区丸太町通東入ル南側
TEL：075-771-1011

※会期順

お詫び

3月下旬の発行を予定していました会報が遅れてしまい、誠に申し訳ありませんでした。このような事がないように、会員の皆さまから選出されました、2017-18年度の運営委員のメンバーにて、運営委員の体制を見直して行きたいと思います。

会員の皆さまには、カナダ展や小品展(@JARFO 京都画廊)に引き続き、温かいご協力を頂ければ、運営委員一同、とても助かります。

それでは、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会報係・総務係・WEB係 ツツミアスカ

発 行：版画京都展実行委員会
(KYOTO 版画)
問い合わせ：075-702-5142
会 報 係：西住恵子、謝敷ゆうり
三上景子、ツツミアスカ

